



月刊 千葉労働動力

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)
電話 (鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 043 (222) 7207 番

96.3.13 No.4357

3.22 春闘第一波ストへ!

春闘勝利・総決起集会へ — 全力で結集しよう! —

今年の春闘は重要な闘いになります。

日経連は春闘対策として「ベア・ゼロ」、「定昇廃止」、「初任給据え置き、引き下げ」等をうちだしています。それだけではなく、さらには「毎年春闘とはおかししい。二年、三年毎にやればいい」と公然と春闘解体を宣言しています。「緊急避難的にワークシェアリングをやる」とも言っています。昨年の日経連プロジェクト報告、「終身雇用制の解体、年功序列制度の解体」の具体化です。

リストラの名のもとに、賃下げ、首切り、出向・配転等の資本の攻撃が吹き荒れ、失業率はまた戦後最悪を更新して三・四%に、二、三〇万人に達しています。こうした大失業時代の到来のなかで、「日経連報告」と全力で対決することが求められています。

政界、財界、官界の腐敗の極致である、「住専問題」。これには六八〇〇億もの血税を投入しようとし、そうした反面、労働者に対しては、やりたい放題の犠牲を転化しています。街には、怒りがあふれています。今ほど労働者が団結することの大切さ、労働組合の真価がとわれているときはありません。

動労千葉は、九六春闘を、

国鉄決戦の年、九六年の第一波闘争と位置付け、春闘第一波闘争を三月二二日、第二波闘争を三月末に想定される回答日を焦点とし、以下の闘いの課題を掲げてストライキを配置して要求の実現をめざして闘います。

- (1)、九六春闘勝利! 三八〇〇〇円の大増賃上げ獲得!
- (2)、清算事業団闘争勝利! 全ての被解雇者の解雇撤回!
- (3)、東日本五万人! 貨物七千人体制粉碎! 運転保安確立!
- (4)、強制配転者の原職復帰!

不当労働行為根絶! 全ての組合員の皆さん! たたかう春闘、たたかう労働運動の復権をかけて、また、正念場の国鉄決戦を見据えて、今次ストライキ闘争を闘おう!

96春闘勝利!
動労千葉総決起集会

とき 3月22日(金)13:30~
ところ 千葉市民会館にて

『事務分科会を 発展させよう』

事務分科会第6会総会開催 (3/9)

事務分科会は、三月九日第六回総会を開催し分科会活動の再出発することを確認しました。

事務分科会はこの十年間総会が開かれずにきましたが、事務職場をめぐる状況はコンピュータの大幅な導入などで一変してきました。またJRになって事務をめぐる環境も大きく変わりました。こうしたなかで分科会会員のなかから分科会活動の再開の気運が高まり今回総会となりました。

総会は、田村会長の「JRになつて分科会も皆であつまる機会がなかったが、今回こうした総会ができ大変うれしい、これから分科会の発展を」とあいさつを受けた。つづいて本部から田中書記長が、①動労という職能組合のなかで事務のはたす役割は大きい、②コンピュータ化が進む事務職場の課題、③分科会の役割の大きさ、④十年目をむかえるJR情勢、などについて本部の考えを提起した。つづいて方針・予算の提起のち討論を行い分科会運動の再開を確認し終了した。

職場環境に対応した活動を展開しよう



選出された新役員

会長	清水 匠 佐 倉
副 "	三代川学 津田 沼
事務長	小柴光一 千葉 転
会計	伊藤 滋 津田 沼
監査	中台 高行 幕 張